

## 地域の力を結集 稲荷町町内会の歩みをDVDに

稲荷町町内会の今昔を映像でつづったDVD「稲荷町の唄」と小冊子「稲荷町のあゆみ」がこのほど完成し、1月24日、みなみ公民館で完成祝賀会が開かれました。JR 笠間駅前の稲荷町（町内会長：飛田文雄さん）は、古くから近森稲荷神社を中心に発展し、現在も様々な行事が活発に行われています。「稲荷町の唄」は、そうしたまちの文化を未来に伝えようと、地域の力を結集してわずか1年間で制作。DVDは収録時間45分に凝縮されたもので、昭和初期から現在までの町の様子や笑顔あふれる家族の写真が次々に登場し、地域の良さや優しさ、安堵感が見事に表現されています。



みなみ公民館で行われた「稲荷町の唄」の上映

## ご利用ください

### 公営稲荷駐車場の休憩施設

佐白山の登り口にある公営稲荷駐車場に、昨年末、休憩施設が完成しました。施設内には、休憩室やトイレのほか、イベント開催に合わせて開店する売店があります。駐車料金は無料。春のつつじまつりや佐白山ハイキングにお出掛けの際は、ぜひご利用ください。



初詣の参拝客でにぎわう休憩施設

## 田宮榮一さんが人権教育講演

### 大切にしよう「家庭内治安」と「1秒のことば」

事件報道解説者としてテレビでもおなじみの元警視監：田宮榮一さんを迎え、2月14日、笠間公民館大ホールで人権教育講演会が開かれました。演題は「人権が守られる 安全・安心のまちづくり」。近年の道德意識の低下や治安の悪化を背景に、社会構造の基本となる家庭内治安の大切さについて触れ、子どもを非行から守るための「1秒の言葉」（ありがとう、こんにちわ、がんばって…）の実践を提唱しました。また、「子どもを非行化させるコソ教えます」という逆説的な資料は、満員の来場者の共感を呼んでいました。



人権の意義と家庭内治安の大切さを訴える田宮さん

# まちの話題

## 環境の整備とまちづくりに貢献

### 平成20年度まちづくりグリーンリボン賞を受賞

このほど、あたご四季の会と「道の市」笠間ハンドメイドフェア in 弁天町実行委員会が、茨城県の「まちづくりグリーンリボン賞」を受賞しました。この賞は、優れた都市景観の整備やまちづくり事業に功績のあった団体に贈られるもの。あたご四季の会は、愛宕山周辺の遊歩道の整備や沢づくりなど、自然環境の維持・向上に努めた活動が評価されました。「道の市」実行委員会は、道を人々の交流の場としてとらえ、地域住民、来訪者、作り手の交流によってまちの賑わいを創出していることが評価されました。



散策路の整備に汗を流す「あたご四季の会」の皆さん



大勢の来場者で賑わう「道の市」会場



## 市民とともに環境を考える 「かさま環境フォーラム」を開催

地球温暖化をはじめとした環境問題を背景に、環境に配慮した生活を実践しようと、2月7日、友部公民館で「かさま環境フォーラム」（主催：同実行委員会）が開催され、多くの市民が来場しました。第一部の基調講演では、丸山俊朗さん（水戸地方気象台技術課長）が世界や日本の温暖化の実態などを紹介。第二部のパネルディスカッションでは、涌井義郎さん（鯉淵学園教授）をコーディネーターに迎え、4人のパネラーが地中熱や太陽光発電などの自然エネルギーについて熱心な議論を繰り広げました。



自然エネルギーをテーマにしたパネルディスカッション

## 第3回みんなの音楽祭 合唱、演奏、ダンスが盛りだくさん

1月24日、笠間公民館大ホールで「第3回みんなの音楽祭」が開かれ、市内5つの障害者（児）施設をはじめ、身体障害者福祉協会、手をつなぐ育成会、ボランティア演奏グループ（トワイライト、川嶋志乃舞さん、ひまわりコーラス）が一堂に会しました。この音楽祭は、障害のある人もない人も一緒に音楽を楽しみながら、社会参加を促していくために開かれているもので、合唱や楽器演奏、ダンスなど多彩な発表が繰り広げられました。



ぴったり息の合った「よさこいソーラン」の発表

## 笠間こどもいけばな教室 日本の伝統美を子どもたちに

茶道や華道、芸能など、日本の伝統文化を子どもたちに知ってもらおうと、毎年各地で「伝統文化こども教室」（文化庁主催）が開かれています。笠間市では、年に10回ほど「笠間こどもいけばな教室」が開かれており、2月7日には、会場の笠間ショッピングセンターに小学生児童約20人が参加しました。会場では、同教室実行委員会の皆さんの分かりやすい指導を受けながら、自作の器に思い思いの形を表現しました。



一人ひとりの感性を形にしていける子どもたち

## 雇用確保へ布陣 市内建設3団体と雇用対策協定を締結

厳しい経済状況と深刻な雇用情勢を背景に、2月6日、笠間市と市内建設3団体が連携し、地元雇用の創出に向けた協定を締結しました。協定を交わしたのは、笠間市建設業協力会（会長：仙波郁雄さん）、笠間市造園建設業協同組合（理事長：稲葉総さん）、笠間市管工事組合（組合長：山口栄さん）の3団体。協定書には、国の緊急経済・雇用対策の一環として、市が交付金などを活用した公共工事の確保と早期発注に努める一方、建設関係団体はその趣旨を尊重し、地元雇用の拡大に努めることが盛り込まれています。



協定を締結した山口市長と市内建設団体代表者